


移住者とのタウンミーティングでいただいた意見と市の対応

『テーマ:移住された方の視点で松山市を考える』 令和7年11月2日(日)10:00～



☆	意 見 の 内 容	対応可能性と 対応時期	対応策または 不可能な理由等	担 当 課																														
1	松山市内は、道路の幅がせま く、また渋滞も多いと感じてい ます。それに対する取組を教え てほしい。	<input type="checkbox"/> 可 能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	松山市は、市内中心部への車の流れを分散させることで渋滞緩和に つなげ、ドライバーも走りやすい自動車専用道路「松山外環状線道路」 の整備を、国や県と進めています。現在、松山 IC から東垣生 IC まで 開通し、今後、国道33号から国道11号や北吉田町から平田町までの 延伸を目指しています。 また、国が事務局になる「愛媛県渋滞対策協議会」を複数回開催し、 松山市をはじめ県、警察、学識経験者などで渋滞の解消に向け話し 合い、対策をしています。 今後も、市民の皆さんが運転しやすい環境づくりに取り組みます。	都市整備部 都市・交通計画課 地域デザイン担当 089-948-6846																														
2	高齢の方の車の運転が危な いと感じています。高齢の方に 対する取組を教えてください。	<input type="checkbox"/> 可 能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	松山市は、すべての世代を対象にして、交通安全教育に取り組んで います。特に高齢の方には、地域で学習会やシミュレータを使う体験 教室などを開催し、事故の未然防止をお伝えしています。 また、市内すべての地区に、ボランティアの交通指導員が387人 (令和7年11月現在)います。街頭指導やご近所の高齢の方を直接 訪問して免許の返納や安全運転などを呼び掛けています。 なお、愛媛県警察の統計「松山市のドライバー(第一当事者)の 年代別交通事故件数(令和2年～6年平均)」によると、件数、割合 ともに年代による大きな差はありません。 <table><tr><td></td><td>10代</td><td>20代</td><td>30代</td><td>40代</td><td>50代</td><td>60代</td><td>70代</td><td>80代以上</td><td>合計</td></tr><tr><td>事故件数(件)</td><td>27</td><td>164</td><td>131</td><td>161</td><td>156</td><td>144</td><td>122</td><td>41</td><td>946</td></tr><tr><td>構成率(%)</td><td>2.8</td><td>17.4</td><td>13.9</td><td>17.0</td><td>16.5</td><td>15.2</td><td>12.9</td><td>4.3</td><td>100</td></tr></table>		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	合計	事故件数(件)	27	164	131	161	156	144	122	41	946	構成率(%)	2.8	17.4	13.9	17.0	16.5	15.2	12.9	4.3	100	都市整備部 都市・交通計画課 交通安全担当 089-948-6863
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	合計																									
事故件数(件)	27	164	131	161	156	144	122	41	946																									
構成率(%)	2.8	17.4	13.9	17.0	16.5	15.2	12.9	4.3	100																									

3	<p>松山は魅力的なまちだと思います。今後、人口維持やさらに魅力を伸ばすための市の方向性を教えてほしい。</p>	<p>□可 能 <input type="checkbox"/>対応済 <input type="checkbox"/>今年度中 <input type="checkbox"/>次年度以降 <input type="checkbox"/>検討中 <input type="checkbox"/>不可能 <input checked="" type="checkbox"/>その他</p>	<p>松山市は、今年度(令和7年度)から10年間のまちづくりの方向性を示す「第7次松山市総合計画」をつくるため、1万人以上の市民の皆さんなどからご意見を伺いました。目指す将来都市像を、「人、まち、仕事がつながる交流拠点『SETOUCHI まつやま』」とし、最重要事項に、人口減少対策を位置付けています。</p> <p>出会いから出産、子育てまで切れ目のない支援で人口が減るスピードを抑えながら、デジタル技術を使って人手不足などの課題や不安を解決していきます。</p> <p>今後も、一人ひとりが自分らしく生きるウェルビーイングを実現できる松山を目指します。</p> <p>詳しい取組は、お配りした冊子やホームページをご覧ください。</p> <p>■第7次総合計画 HP </p>	<p>総合政策部 企画戦略課 政策経営・地方創生担当 089-948-6213</p>
4	<p>駅前でのいろいろな工事が進められているが、こういった方向性で進めていくのか教えてほしい。</p>	<p>■可 能 <input type="checkbox"/>対応済 <input checked="" type="checkbox"/>今年度中 <input checked="" type="checkbox"/>次年度以降 <input type="checkbox"/>検討中 <input type="checkbox"/>不可能 <input type="checkbox"/>その他</p>	<p>松山市は、1日約3万人が利用する地域交通の拠点「松山市駅」と県内外からの広域的な交通拠点「JR 松山駅」の両方の交通機能を高め、人が集まりにぎわいを生み出す整備を進めています。</p> <p>「松山市駅」は、今年8月に市内電車の乗り場を郊外電車の乗り場に近づけ、乗換えが便利になりました。来年(令和8年)の秋には、マルシェなどのイベントが開催できる交流広場が完成します。</p> <p>「JR 松山駅」は、西側はアリーナ、東側は民間の力を借りて商業施設や子ども向けアミューズメントの整備など、エリア全体のにぎわいづくりを目指し、民間事業者からさまざまな意見をサウンディング調査でお聞きし、「JR 松山駅整備」のモデルプランを、来年3月までに公表したいと考えています。また、市内電車の乗り場を新しい駅舎近くに移転し、利便性を高める予定です。</p>	<p>都市整備部 交通拠点整備課 松山駅周辺整備計画担当 089-948-6896</p>

5	堀江に住んでいますが、インターチェンジが遠いです。堀江や北条ぐらいいにできる計画はありますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 可 能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input checked="" type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> その他	<p>松山 IC から松山空港、松山港及び市内の主要な国道などをつなぐ自動車専用道路になるのが、「松山外環状線道路」です。</p> <p>この道路の建設で、交通アクセスが高まり、市内の交通渋滞が解消され、良好なまちづくりにもつながるため、市長自ら国土交通省を訪れ、早期の整備を強く要望しています。</p> <p>昨年(令和6年)2月までに、松山 IC から東垣生 IC まで開通し、昨年4月から、北吉田町から国道196号方面の平田町までの区間で事業を行う調査が始まるなど、実現に向けて着実に進んでいます。</p>	<p>都市整備部 都市・交通計画課 総務担当 089-948-6836</p>
6	高齢化社会が進むにつれ、電車、バスを利用する人が多くなると思います。本数が少なく料金は高いイメージがあります。終電はもう少し遅くてもいいと思います。	<input type="checkbox"/> 可 能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<p>電車、バスの本数や料金について、運行事業者である伊予鉄道株式会社と伊予鉄バス株式会社にお伝えし、下記の回答がありました。</p> <p>【伊予鉄道株式会社・伊予鉄バス株式会社】</p> <p>現時点での運転手や利用者の数などで、ダイヤの本数や最終便の時間を決めています。また、老朽施設・車両の更新や燃料費を含む物価の高騰対策、人材確保のための処遇改善が必要であることから、運賃の引下げは難しい状況です。</p> <p>なお、松山市は、まずは公共交通の路線を維持するため、国や県と公共交通事業者の運営支援を行うほか、自動運転バスの導入に協力するなど、地域公共交通の維持に努めています。</p>	<p>都市整備部 都市・交通計画課 地域デザイン担当 089-948-6448</p>

7	松山で、みかんも魚も安く手に入り、新鮮なものを食べられる環境整備をしてほしい。	<div>■可 能</div> <div>■対応済</div> <div>□今年度中</div> <div>□次年度以降</div> <div>□検討中</div> <div>□不可能</div> <div>□その他</div>	<p>松山市は、生産者と消費者、両者のニーズを踏まえ、元気で活力ある松山の農林水産業を応援し、農林漁業者の皆さんの所得を上げる「儲かる農林水産業」を進めています。</p> <p>柑橘を育てるハウスや水をまく機器に支援したり、松山沖に魚のえさ場や産卵場所の人工魚礁を設置したりするなど、高品質で生産コストを下げる取組をしています。</p> <p>生産コストが下がることで、消費者には、安く新鮮なみかんや魚をお届けできると考えています。</p>	農林水産部 農林水産振興課 総務・水産担当 089-948-6492												
8	国から給食費無償化の話は出ているが、松山市として国より早く実施する案など、何か考えていることを教えてほしい。	<div>□可 能</div> <div>□対応済</div> <div>□今年度中</div> <div>□次年度以降</div> <div>■検討中</div> <div>□不可能</div> <div>□その他</div>	<p>松山市は、食材費などの高騰で、1食当たりの給食費を令和6年度と7年度に改定させていただきましたが、子育て世帯を応援するため、2か年で4億 8,500 万円の値上げ分を本市が負担し、令和5年度(※下表のとおり)の給食費を維持しています。</p> <p>給食費の無償化は、恒久的な制度で国が全国一律に行うことが望ましいと考え、要望を続けています。</p> <p>国が、来年度(令和8年度)から全国の小学校の給食費無償化を進めていますので、動きを見極め適切に対応します。</p> <p>【1食当たりの給食費】</p> <table><tr><td></td><td>令和5年度※</td><td>令和6年度</td><td>令和7年度</td></tr><tr><td>小学校</td><td>250円</td><td>275円</td><td>290円</td></tr><tr><td>中学校</td><td>300円</td><td>330円</td><td>345円</td></tr></table>		令和5年度※	令和6年度	令和7年度	小学校	250円	275円	290円	中学校	300円	330円	345円	教育委員会 保健体育課 学校給食担当 089-948-6812
	令和5年度※	令和6年度	令和7年度													
小学校	250円	275円	290円													
中学校	300円	330円	345円													

9	<p>増え続ける不登校児童の学びの場を確保するため、民間のフリースクールも視野に入れて、取組んでいることや今後の方針を教えてほしい。</p>	<p>■可 能 <input checked="" type="checkbox"/>対応済 <input type="checkbox"/>今年度中 <input checked="" type="checkbox"/>次年度以降 <input type="checkbox"/>検討中 <input type="checkbox"/>不可能 <input type="checkbox"/>その他</p>	<p>松山市教育支援センターは、学校に行きづらい児童・生徒の安心できる居場所や学びの場として、「松山わかあゆ教室」や「文化の森教室」などを開設しています。心理判定員や教育指導員が子どもやその保護者の悩みや不安を聴き、勉強やスポーツ、体験活動を通して、子どもに寄り添った支援を行っています。</p> <p>昨年度(令和6年度)から、児童の自宅などに指導員が訪問し、子どもに合わせたスタイルで学習支援することにも力を入れています。</p> <p>また、民間フリースクールとの意見交換で、不登校支援の取組を共有し、支援の参考にしています。加えて、その中から出た意見を受け、市MACメール(一斉情報発信システム)を使いフリースクールの取組を周知するなど、連携を深めています。</p> <p>なお、現在、市内14の中学校に校内サポートルームがあります。すべての中学校に設置するため、来年度(令和8年度)、残り15校で整備予定です。その後、小学校に広げる検討をしていきます。</p>	<p>教育委員会 教育支援センター事務所 教育相談担当 089-943-3346</p> <p>学校教育課 生徒指導担当 089-948-6599</p>
10	<p>サポートが必要な児童のため、学級支援員の支援時間を延ばしてほしい。人員も増やしてほしい。</p>	<p>■可 能 <input checked="" type="checkbox"/>対応済 <input type="checkbox"/>今年度中 <input type="checkbox"/>次年度以降 <input type="checkbox"/>検討中 <input type="checkbox"/>不可能 <input type="checkbox"/>その他</p>	<p>松山市は、サポートが必要な児童の学校生活を支援するため、「学校生活支援員」に加え、昨年度(令和6年度)から、教員OBなど、より専門的な知識やスキルのある「学級支援員」を配置し、サポートの質を高めています。</p> <p>両支援員の数は、令和5年度の265人から今年度(令和7年度)は283人に増やしました。</p> <p>支援員は、学校と話し合っ、児童の状況に応じた支援時間を決めています。また、配置した支援員で対応できない場合は、人数を増やしたり、支援時間を延ばしたりするなど、しっかりと児童をサポートできる体制づくりに取り組んでいます。</p>	<p>教育委員会 学校教育課 特別支援教育担当 089-948-6169</p>

11	子育て支援について、どこに相談してどこで情報を得たいのか、知らない人が多いと思います。	■可 能 ■対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> その他	<p>松山市は、昨年度(令和6年度)に、子育て世帯の皆さんが相談できる連絡先や知りたい情報などを、目的や年齢、施設の 카테고리で探せる「まつやまこども子育てサイト にこっと」を始めました。</p> <p>市の広報紙や公式LINE、民間のフリーペーパーを使うほか、親子連れが多く訪れるイベントや児童館などでも PR しています。</p> <p>また、「にこっと」のInstagramも始め、子どもと一緒にに行けるイベントやおすすめスポットなどの情報発信にも力を入れ、若い世代の関心を高めています。</p> <p>なお、効果的に情報を広げる手段の一つに「口コミ」があります。ぜひ、家族やお友達に向けた「にこっと」の PR にご協力ください。</p> <p> ■にこっとサイト  ■にこっとInstagram  </p>	<p>こども家庭部</p> <p>こどもえがお課</p> <p>少子化対策担当</p> <p>089-948-6039</p>
12	児童クラブが増えたらいいと思います。小学生の預け先は、低学年が優先されているので、不登校や高学年の預かり先が地域ごとにあればいいと思います。	■可 能 ■対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> その他	<p>松山市は、子どもの健やかな成長を支えるとともに、子育て世帯を全力で応援するため、毎年、児童クラブ数と受入数を増やしています。</p> <p>今年度(令和7年度)を10年前(平成27年度)と比較すると、クラブ数は93から127カ所に、受入数は4,099人から6,100人に増えました。</p> <p>児童クラブでは、受入は低学年を優先していますが、定員枠の範囲で、高学年や不登校の児童にも利用いただいています。</p> <p>また、市内に8カ所あるすべての児童館では、放課後の居場所として、学校から直接来館できるほか、不登校の児童も自由に利用できますので、ぜひご利用ください。</p>	<p>こども家庭部</p> <p>こどもえがお課</p> <p>こども居場所づくり担当</p> <p>089-948-6411</p>

13

神奈川県※から移住しましたが、松山市は他の県と比べて家庭学習の比率が高いと思います。家庭学習の支援を増やしたり、先生と家庭と地域で分散したりできる取組はありませんか。

■可能

■対応済

☐今年度中

☐次年度以降

☐検討中

☐不可能

■その他

学習指導要領では、宿題など家庭での学習課題を適切に出すよう示しています。家庭学習の量は全国どの学校でもクラス担任が、児童の勉強の進み具合で決めるため、同じ学年でもクラスで異なります。

松山市では、家庭での学習習慣を定着させるため、家庭学習を1日1時間以上する児童の指標を76%以上にしています。

今年度(令和7年度)は63.5%で、全国平均54%より高くなっていますが、1日2時間以上では25.4%で、全国平均24.9%と大きな差はありませんでした。

なお、「休日子どもカレッジ」では、夏休みなどに、愛媛大学等のスタッフが、児童の学習活動のサポートをしているほか、29カ所ある「放課後子ども教室」では、学校の空き教室などで地域の方々が、宿題などを見てくれますので、ぜひご利用ください。

【1日2時間以上の家庭学習をする児童の割合】

自治体名	割合	自治体名	割合
松山市	25.4%	愛媛県	21.6%
神奈川県※	32.2%	香川県	22.2%
全国平均	24.9%	徳島県	21.8%
		高知県	30.2%

教育委員会
学校教育課
教育指導担当
089-948-6591

地域学習振興課
地域子ども育成担当
089-948-6813

こども家庭部
こどもえがお課
こども居場所づくり担当
089-948-6781